

別記 四

郊外電鉄従業員諸君に勧告す

今回惹起したる市電争議は電氣局当局の全交通労働者大衆に對する挑戦であり非常重大なる時局は社會大衆の欣然たる國民的一致協力をも望みしつゝ、あつたに際し好く争議を誘発するが如き市電当局の態度は時局の現状を顧り見ざるものがある。

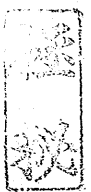
然るに日本主義を指導精神とする我が組合大衆及び東交従業員が五日始業より罷業を開始するや市電当局はその合理的解決に努めず及び一昔早圍臨時雇などの他を動員して紛議を拡大せしめると同時に郊外電鉄諸會社に通謀して各會社乗務員をスマツプ(裏切者)として大量的に供給するの計劃を立て、居ることか判明したのである。

本争議はその直接の原因及び目的が市電乗務員の利害にあるのは勿論であるが、職つて想ふに我等の勝敗如何は必らずや全交通労働者六十万大衆に影響し、明日の禪をが諸君に見舞はるべきを信ずるが故に各會社当局のスマツプ供給計劃の行はるゝに際しては之を断乎として排撃し、鋭く全大衆の國民的勝利の爲に奮起せられん事を敢て勧告す。

昭和九年九月八日 日本交通従業員組合本部

昭和九年九月八日 (午後五時四十分)

警視廳特別高等警察部労働課



市電争議ニ關スル情報 (第四六報)

一 東交争議本部書記局ノスト情報發行

争議本部書記局ニ於テハ八日午前十時別記(一)ノ如キスト情報第七報ヲ發行各支部争議團ニ配送セリ

二 市電争議應援團會議代表ノスマツプ

情報第四十三報七項所載ノ通り代表者等ハ各争議團ヲ訪問

別記(二)ノ如キスマツプニシテ讀セリ

三 電車部早稲田支部

午後一時頃各支部第三組代表四名ハ争議團ヲ訪問、自分達ノ氣持ヲ表ハス、稱シ金ハ圓四十錢ヲ提出争議基金ニ